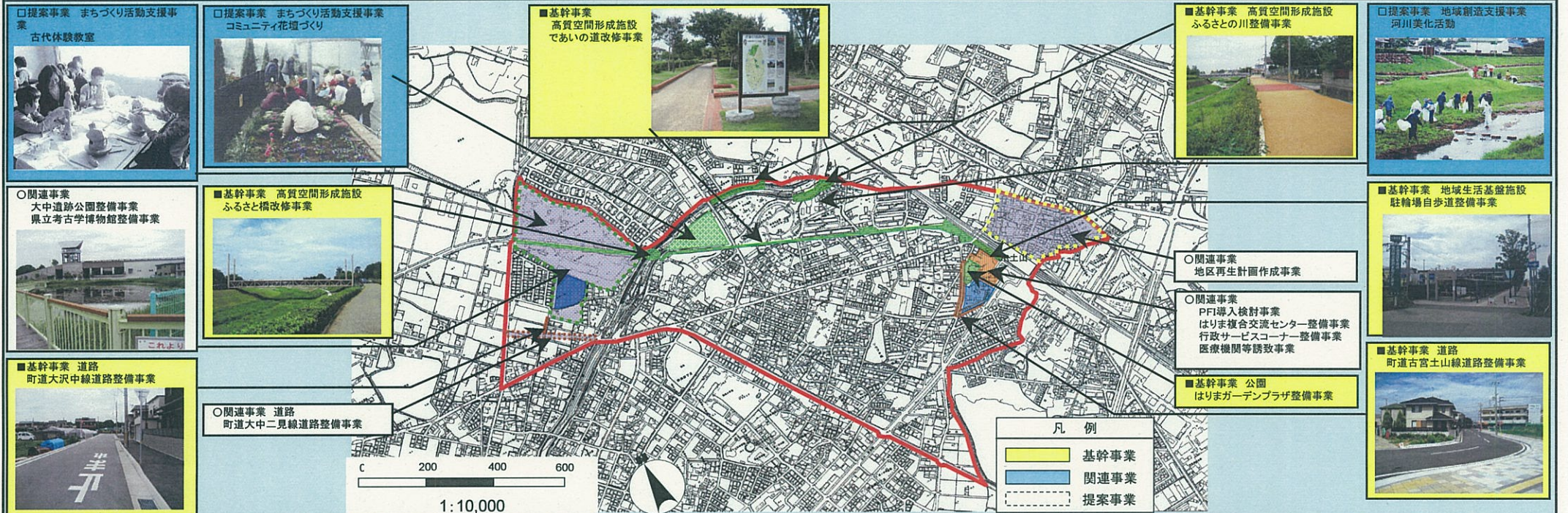


## 様式2-2 地区の概要

### JR土山駅周辺地区(兵庫県播磨町) まちづくり交付金の成果概要

| まちづくりの目標   | 目標を定量化する指標  |          | 従前値   |      | 目標値   |      | 評価値   |      |
|--|-------------|----------|-------|------|-------|------|-------|------|
|  | 指標          | 単位       | 従前値   | 従前年度 | 目標値   | 目標年度 | 従前値   | 目標年度 |
| 大目標: 播磨町の顔として「にぎわい・うるおい拠点」の形成による交流空間の創造<br>目標1: 駅前の土地利用の再編により、町の玄関としてのにぎわいを再生する<br>目標2: 悠久の歴史文化資源を活かし、住民・観光客等の交流を促進する<br>目標3: 豊かな水と緑を活かし、歩行者ネットワークの魅力向上を図る | 駅の乗降客数(非定期) | 単位: 千人/年 | 2,448 | H14  | 2,600 | H21  | 2,737 | H21※ |
|  | 遺跡周辺入込み客数   | 単位: 千人/年 | 100   | H15  | 150   | H21  | 325   | H21※ |
|  | 緑道利用者数      | 単位: 人/日  | 1,440 | H14  | 1,730 | H21  | 2,432 | H21※ |
|  | イベント開催数     | 単位: 回/年  | 3     | H15  | 5     | H21  | 4     | H21※ |

※見込み値



**まちの課題の変化**

- ・JR土山駅にアクセスする道路や駐輪場の整備により、駅への交通利便性が高まることと、歩行者の安全性確保や駅周辺の放置自転車の減少による環境美化にもつながった。
- ・大中遺跡公園・県立考古博物館の整備、古代教室の開催等により、大中遺跡周辺の文化ゾーンとしての魅力が高まった。また、喜瀬川・狐狸ヶ池・野添であい公園・野添北公園といった自然ゾーンも形成され、子どもから高齢者まで多様な年代が学習したり、憩うことができる拠点が形成された。
- ・ふるさと橋であいのみちの改修、喜瀬川の整備・清掃活動等により、駅から大中遺跡周辺に至る、魅力ある水と緑のネットワークが形成された。
- ・まちづくり交付金事業による施設整備、住民活動支援が契機となり、河川清掃・環境保全活動、花壇づくりなどのボランティア活動団体が増加した。特に河川清掃や花壇づくりについては、本地域での活動が、町内の他地域にも拡まっており、町民の環境・まちづくり意識の向上につながっている。今後、ボランティア活動団体の活動継続が求められる。
- ・交付期間内に整備できなかった施設(はりま複合交流センター・ソウブチ池)の整備が求められる。
- ・地区の魅力を維持・向上させるため、住民とも連携しながら、各施設の適切な維持管理や魅力的なイベントの開催等を進めていく必要がある。
- ・道路の整備等による大中遺跡周辺における開発圧力の増大に対応する必要がある。
- ・今後は、本事業で形成された拠点等を活かしながら、景観に配慮したまちづくりを進めていくことが望まれる。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・はりま複合交流センターの実施計画の検討、整備の推進。
- ・住民参画によるソウブチ池の整備・維持管理の方向性の検討。
- ・花と緑で飾るまちづくり補助制度等の住民ボランティア活動支援制度の活用推進。各施設や住民ボランティア団体等との連携によるイベント開催の推進。住民ボランティア活動内容の情報発信(町民への意識啓発)。
- ・駅周辺における放置自転車の取り締まりの推進。
- ・大中遺跡周辺における土地利用規制(市街化区域の編入及び用途地域の指定、地区計画の策定)の検討。
- ・ボランティア活動の継続を支援する仕組みづくり(各助成制度を一括整理したホームページの作成等)の検討。
- ・町の玄関口にふさわしい景観に配慮したまちづくりの推進。(広報・シンポジウムの開催といった啓発活動の実施検討。)